

投稿の手引き

1. 原稿はMS-WORDを原則とし、テンプレートにならって作成する。
2. 原稿には、和文題目、英文題名、漢字著者名、ローマ字（略さず）著者名をこの順に書き、脚注として所属官署を和文と英文で書く。つづいて、英文アブストラクト、和文本文（図・表・写真とその説明を含む）、文献の順に記す。1ファイルにする必要はない。英文アブストラクトの和訳、図表名とその説明の和訳は別ファイルとする。ただし、報文、雑報の場合アブストラクトは省くことができ、図表等の説明は和文のみでよい。文献はそれがなくなると省くことができる。
3. 英文アブストラクトは、目的、仮定、方法、結論等を明確に書き、本文の数式、図表等は引用しない。
4. 本文
 - 4.1 節の切れ目は1行あける。
 - 4.2 節の見出しはゴシックとし、各節の本文は新しい行から1文字あけて書き始める。
 - 4.3 句読点には、.（ピリオド）、,（コンマ）を使用し、。、は使用しない。
 - 4.4 人名、地名の読みにくなものには振り仮名を付ける。
 - 4.5 数式、特に本文中の数式は、その前の文と行間が1行程度になるように調整する。数式が続く場合には行間を開ける必要はない。
 - 4.6 単位は原則として国際単位系（SI）を使用する。
 - 4.7 暦年は原則として西暦を用いる。また、人名の敬称は原則として省略する。
5. 図・表・写真
 - 5.1 図等の表題・説明は、論文の場合は原則として英文で、その他の場合は和文で書く。図表中の文字、記号はもれなく説明する。また、必要な単位は必ずつける。
 - 5.2 図等には、第1図、Fig. 1、表1、Table 1のように通し番号を付ける。
 - 5.3 製版後は図の修正は不可能なので、注意すること。
6. 文献

文献は、本文の末尾に原則として次の形式にしたがって列記する。並べる順序は和文を先にして50音順、続いて欧文をアルファベット順に並べる。

雑誌 著者名（西暦年）：表題、雑誌名、巻数、号数（原則として省略）、ページーページ。
単行本 著者名（西暦年）：書名、第何版、発行所、総ページ数（または引用ページ）。

（例）

安藤邦彦（1992）：表面現象から見た近年の伊豆大島の火山活動の期間とその特徴、*験震時報*, **55**, 139-156。
宇津徳治（1985）：*地震学*, 第2版, 共立出版, 310pp。
Hull, A. and C. Nicholson (1992): Seismotectonics of the Northern Elsinore Faults Zone, Southern California, *Bull. Seism. Soc. Am.* **82**, 800-818.

平成22年1月29日発行

編集兼発行人

気 象 庁

東京都千代田区大手町1丁目3-4

印刷所

株式会社 アイガー

東京都新宿区早稲田鶴巻町563-22 アイガービル

○リサイクル適正の表示：紙へリサイクル可

Quarterly Journal of Seismology

Vol.73 Nos.1~2 January 2010

Contents

REPORTS

- Evaluation and Improvement of Earthquake Early Warning
 Keiji DOI, Toshiyuki MATSUMORI, Tatsuro AIKAWA and Takashi YOKOTA 1
- Improvement of P-wave Magnitude Estimation for Earthquake Early Warnings from JMA
 Tamotsu AKETAGAWA, Masashi KIYOMOTO, Toshihiro SHIMOYAMA,
 Ken MORIWAKI and Takashi YOKOTA 123
- Investigation of Technical Issues for Earthquake Early Warning
 ...Masashi KIYOMOTO, Tamotsu AKETAGAWA, Kazuo OHTAKE, Toshiki SHIMBARU,
 Toshihiro SHIMOYAMA, Ken MORIWAKI, Keiji DOI and Takashi YOKOTA 135
- Effect of Window Length for Maximum Amplitude Estimation on P Wave Magnitude
 Mitsuyuki HOSHIBA, Kazuhiro IWAKIRI and Kazuo OHTAKE 151
- Source Identification and Modeling of Characteristic Volumetric Strain and Water Level Changes
 at Mikkabi Observed during Summer Akio KOBAYASHI,
 Takeyasu YAMAMOTO, Shin CHIKASAWA, Kazuhiro KIMURA and Akio YOSHIDA 159

SHORT NOTE

- Effects of the Shizuoka Earthquakes in 1935 and 1965 on the Occurrence Time of the Tokai
 Earthquake
 Kazuhiro KIMURA, Kenji MAEDA and Fuyuki HIROSE 165

Published
 By

The Japan Meteorological Agency
 c/o Seismological and Volcanological Department, JMA
 1-3-4 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8122, JAPAN